

藤吉本社社長から表彰状を受ける飯田三菱重工業社長(左)

「経済立国支える」

88 10大新製品賞の贈賞式

本社選定

日刊工業新聞社選定の第二十二回一九八八年十大新製品賞贈賞式が二十五日午前十一時から東京・紀尾井町のホテルニューオータニで開かれた。贈賞式には賀来龍三郎キヤノン社長ら受賞各社代表のほか、石坂誠一人事院人事官ら来賓多数が出席した。

日刊工業新聞社選定の第二十二回一九八八年十大新製品賞贈賞式が二十五日午前十一時から東京・紀尾井町のホテルニューオータニで開かれた。贈賞式には賀来龍三郎キヤノン社長ら受賞各社代表のほか、石坂誠一人事院人事官ら来賓多数が出席した。

評価された製品を選び表彰すること、わが国産業技術の振興を図ることを目的に、昭和三十三年に制定されたもので、今回で三十一回目。今回の受賞製品は昨年より九件多い百四十一件の応募製品の中から選ばれた。贈賞式は、来賓紹介のあと主催者を代表して藤吉敏生日刊工業新聞社社長が「今回で三十一回目を数えるが、その間多くの新製品が世に出た。これらの新製品は日本経済の発展に多大な

貢献をしてきたことから、同賞に対する国内外の関心も高まっている。日本経済は好調に推移しているが、それを支えているのは新製品、新技術の開発意欲であり、この意欲がある限り日本経済に不安はないと確信する」とあいさつした。次いで審査経過の報告、受賞製品の紹介に引き続き、藤吉社長から受賞各社代表一人ひとりへ表彰状、記念の盾、副賞の賞金が手渡された。このあと来賓として宮崎茂一

科学技術庁長官(内田勇夫科学技術事務次官代読)が「受賞製品はいずれも最先端技術のもとに開発され、わが国の高い科学技術水準を示すもの」、飯塚幸三通産省工業技術院長(岡澤公夫技術審議官代読)が「過去三十回の受賞製品を振り返ると、まさにわが国の技術開発の歴史を示している。今回の受賞製品も極めて高い性能を持つもので、産業政策に携わるものとして深く敬意を表する」と、それぞれあいさつした。最後に受賞各社を代表して飯田(左)田(右)社長らが「この権威ある賞に選ばれ大変光栄です。この受賞を無駄にせず、新たな技術開発に挑戦したい」と謝辞を述べ、盛会のうち閉会した。

(3面に関連記事、「生みの苦心」は7面に)

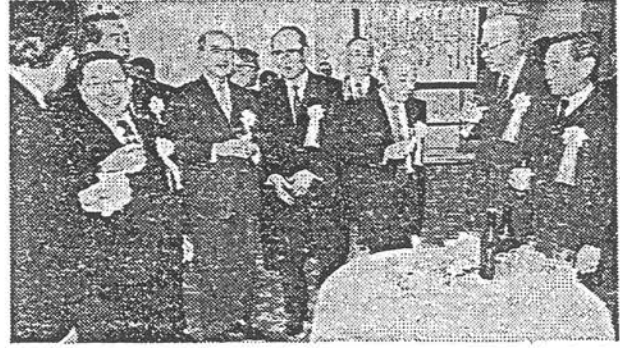
十大新製品賞は毎年、実用化された新製品の中から、これまでの技術の壁を破り国内外で高

10大新製品賞贈賞

「わが国の研究開発は総額九兆円で米国に次ぐ水準だが、うち八割は民間企業の投資分。関本日本電気社長が「この『国がもってこい』とおしかりを受けている。この『国がもってこい』を来年度科学技術予算は六割増と願って増やした」と内田勇夫科学技術事務次官がユーモアたっぷりに国のPRを込めてあいさつ、十大新製品賞授賞後のパーティーは開かれた。受賞者は新しい時代の最初の年に受賞したこともあってこの顔も晒れやう。研究開発の苦力が報われた(大野茂松下電機工業専務)、一部品という地味な仕事でも評価されて感激している(山本芳夫松下電器部品社長の言葉は代表者からかみかみとして聞こえてくる)。そして「応用ソフトを開発し市場に投入する」(市野川和夫日本電気市場開発社長)と今回の受賞を機に今後とも技術開発に努めることを全員で誓っていた。パーティーは午後一時すぎ、和やかなうちに散会した。(一面参照)

表彰された新製品

- ▽キヤノン パーソナルステーション NAVI キヤノン
- ▽磁気一括消去型 EEPROM 東芝
- ▽パーソナルニューロコンピュータ「Neuron 07」 日本電気 日本電気市場開発
- ▽鉄鋼圧延用新世代ロール「ハイネックス」 日立金属
- ▽16ビットDRAM超LSI製造用マイクロ波プラズマエッチング装置 日立製作所
- ▽永久磁石方式磁気共鳴イメージング装置(MRP-20シリーズ) 日立メディコ 住友特殊金属
- ▽全電動式射出成形機「フアナック オートショットシリーズ」 フアナック
- ▽オフセット印刷用PPS版システム「富士PPS・スタブロン・システム」 富士写真フイルム
- ▽画振れ防止機構搭載VHSムービー 松下電器産業 松下電器工業 松下電器部品
- ▽三菱CNCハードギャブイニッシャー「HA25CNC」 三菱重工業



笑みがこぼれる喜びの受賞者



キヤノン・賀茂隆二社長 多額の技術開発費を投入して新製品の開発を進めてきた。いだが、結果としてこの形での表彰されるのは嬉しいと同時に、励みになる。毎年められたい気持ちで臨んでおり、来年も取りたい。

東芝・青井野一社長 半導体は、W作戦と銘打って当社が最も力を入れている戦

今回、半導体で賞を頂いたことは大変喜ばしく思っている。今後とも数多くの受賞を目指し努力していきたい。

日本電気・関本忠弘社長 十大新製品賞は私たちの研究の励みになっていく。今回はニューロコンピュータで受賞したが、今後十年先どんなコンピュータになっているか案じみた。現在続けている連続受賞を賞を置ねその時も受賞した。

日立金属・松野浩二社長 受賞新製品は、当社が力を入れている素材を極める。研究開発の結果ともいえるもの。早くも鉄鋼業界に大きなインパクトを与え始めており、今後も自信を持って素材で勝負していきたい。

日立製作所・渡辺宏副社長 この装置は、これらの超LSI生産の武器となる。私が中央研究所長をやって十年ほど前に、その種をまいたもので、感慨深いものがある。技術というのは、これで終わりというところはないわけで、受賞を機に頑張りたい。

日立メディコ・木村博一社長 画像がO・五種の機種に充った。社

富士写真フイルム・大西賢社長 十年ぶりの受賞で喜びにたえない。様々な記録材料、機器、ソフト一体となった製品システムの開発を目指しており、今回の受賞もその成果です。これを機に次へチャレンジしたい。

松下電器産業・山下俊彦取締役相談役 素人でも使えるようにするユーザ

三菱重工業・飯田庸太郎社長 歴史と権威のある賞を受賞して大変栄誉です。いまや日本も世界から独自の自主技術による新製品が注目される時代になった。受賞の感激はたまることなく、次の技術開発の出发点とした。